

受付番号 第 号  
200年 月 日 時 分

山県市議会議長 様

山県市議会議員 寺町知正 印

一般質問通告書

下記のとおり質問したいので、通告します

質問番号2番 答弁者 副市長

質問事項 東海環状道事業に対する市の基本姿勢と認識、展望

《質問要旨》 東海環状道事業に関連する行政の基本姿勢と認識、予測を確認する。

この種の道路計画の場合に、よくきく言葉に、企業誘致、雇用の創出、地域振興、自治体の税収の確保などのメリットあるいは課題がある。

東海環状道について、旧高富町時代の10年間、合併後の山県市6年間の行政は次のように、まちの最重要課題として位置づけている。

◎旧高富町第4次総合計画(1996/H8年から10年間)の「まちづくりの基本施策-1」は「東海環状自動車道の建設を基本として・」(同書26ページ)と始まる。

しかし、一般的かつ抽象的な表現があるだけで、企業誘致、雇用の創出、自治体の税収についても他に何も具体的な数値をもって示されていない。

◎同時期に策定された「都市計画マスタープラン」も同様である。

◎2001年/H13年に見直された「後期基本計画」もまったく同様である。

続いて、自治体合併後の山県市はどうなのか。

◎第1次総合計画の前記分は2005年/H17年~2009年/H21年であるが、旧高富町同様具体的な数字の予測は何もない。

◎同時期策定の「都市計画マスタープラン」にいたっては、表紙にインターと国道バイパスの交差地域の予想図を載せながら、本文中には何の具体的予測も何もない。

仮に、総合計画、基本計画、マスタープランには将来の具体的な数字は書かないとの抗弁があるなら、「では、基礎データがちゃんとあるのか」と当然に疑問がわく。

副市長はこれら計画作りに、深くかわかり、企業誘致担当のチーフでもあるので問う。

1. 東海環状道に絡んで、どんな調査予測、将来構想づくりをしたか、それらの事業名、実施年度、経費とその成果を示されたい。
2. とはいえ、私が調べた限り、町や市の公的な文書や記録には、その具体的な予測は何もない。その認識でよいか。
3. 冒頭に示したそれぞれについての下位計画、根拠データ、基礎資料等も同様に具体的な数字はないのではないか。
4. 東海環状自動車道・西回りルートにおいて、
  - ①事業主体の国あるいはサポートの県は、西回りルートにおける自治体毎の企業誘致、雇用の創出、自治体の税収等の現状と将来をどう予測しPRしているのか。
  - ②供用の先行している御嵩町や美濃加茂市など他の自治体や地域では、企業誘致、雇用の創出、自治体の税収、市域全体の経済的利益等は、どのような現状で、今後を具体的にどのように予測しているのか。
  - ③以前のことはともかく、今、山県市としては、企業誘致、雇用の創出、自治体の税収、市域全体の経済的利益等について、具体的にどのような数字を示すのか。  
具体的な数字を出せない、つまり、具体的なメリットや利益は予測できないのなら、「単に願望している」だけということになる。山県市及び市民や団体にとって、本当に意義があるのか、説得力のある予測のデータを示されたい。仮に、数字を持っていなければ、この際だから、各種情報を総合して概算して示されたい。

以上